

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神障害作業療法治療学			必修	2	2	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
池谷 政直		C311	ot_ikeya		水曜日 9:00~10:30	
授業の目的・概要	精神機能作業療法の基本的視点について理解を深めることを目的とし、作業療法介入の概念および方法について説明する。各学習内容について、文献・視覚教材・課題を通して理解し、フィードバックとメディアを利用したグループワーク等の意見交換を行い、精神機能作業療法の理解を深める。					
学習上の助言	本科目は精神医学Ⅰ・Ⅱで学んだ精神疾患の知識が必要となるため、各疾患における病態や特徴について復習し理解しておくことが望ましい。					
教科書	標準作業療法学 精神機能作業療法学 第3版/編:新宮尚人/医学書院/2020					
参考書	精神障害と作業療法[新版] 病いを生きる、病いと生きる 精神認知系作業療法の理論と実践/著:山根寛/三輪書店/2017					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	本邦の精神保健福祉の歴史と現状について説明することができる				OT (1) (2)	
②	精神障害作業療法における理論やモデルについて説明することができる				OT (1) (2)	
③	精神障害作業療法の構造と実践形態について説明することができる				OT (1) (2) (3)	
④	精神疾患の回復過程と、回復過程に応じた治療について説明することができる				OT (1) (2) (3)	
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション 精神機能作業療法の基礎 (精神機能作業療法の基本的視点) について学ぶ	同時双方向型 授業	(事前学習) 教科書 P1-11 を精読する。 (事後学習) 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認・復習。			4
2	精神機能作業療法の基礎 (精神保健医療福祉と作業療法) について学ぶ	同時双方向型 授業	(事前学習) 教科書 P12-21 を精読する。 (事後学習) 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認・復習。			4
3	精神機能作業療法の実践基盤 (精神機能作業療法の理論・実践モデル、回復過程と作業療法) について学ぶ	同時双方向型 授業	(事前学習) 教科書 P29-37 を精読する。 (事後学習) 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認・復習。			4
4	精神機能作業療法の実践基盤 (地域生活における作業療法の視点) について学ぶ	同時双方向型 授業	(事前学習) 教科書 P54-63 を精読する。 (事後学習) 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認・復習。			4
5	疾患別精神機能作業療法 (統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害) について学ぶ①	同時双方向型 授業	(事前学習) 教科書 P94-114 を精読する。 (事後学習) 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認・復習。			4
6	疾患別精神機能作業療法 (統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害) について学ぶ②	同時双方向型 授業	(事前学習) 教科書 P94-114 を精読する。 (事後学習) 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認・復習。			4
7	疾患別精神機能作業療法 (気分 (感情) 障害) について学ぶ①	同時双方向型 授業	(事前学習) 教科書 P115-114 を精読する。 (事後学習) 教科書・授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認・復習。			4
8	疾患別精神機能作業療法 (気分 (感情) 障害) について学ぶ②	同時双方向型 授業	(事前学習) 教科書 P115-114 を精読する。 (事後学習) 教科書・授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認・復習。			4
9	疾患別精神機能作業療法 (神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害) について学ぶ	同時双方向型 授業	(事前学習) 教科書 P131-141 を精読する。 (事後学習) 教科書・授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認・復習。			4
10	疾患別精神機能作業療法 (精神作業物質使用による精神および行動の障害) について学ぶ	同時双方向型 授業	(事前学習) 教科書 P84-93 を精読する。 (事後学習) 教科書・授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認・復習。			4
11	疾患別精神機能作業療法 (生理的障害、身体的要因に関連した行動症候群) について学ぶ	同時双方向型 授業	(事前学習) 教科書 P142-153 を精読する。 (事後学習) 教科書・授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認・復習。			4
12	疾患別精神機能作業療法 (成人の人格および行動の障害) について学ぶ	同時双方向型 授業	(事前学習) 教科書 P154-168 を精読する。 (事後学習) 教科書・授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認・復習。			4
13	状態別精神機能作業療法 (認知機能障害、身体合併症における作業療法) について学ぶ	同時双方向型 授業	(事前学習) 教科書 P186-217 を精読する。 (事後学習) 教科書・授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認・復習。			4

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

14	場面別精神機能作業療法（退院支援、地域生活支援における作業療法）について学ぶ	同時双方向型 授業	（事前学習）教科書 P220-230、P265-278 を精読する。 （事後学習）教科書・授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認・復習。				4
15	場面別精神機能作業療法（就労支援、復職支援、司法精神医療における作業療法）について学ぶ	同時双方向型 授業	（事前学習）教科書 P231-264、P279-290 を精読する。 （事後学習）教科書・授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認・復習。				4
試	定期試験						
達成度評価							
総合評価割合（%）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	0	30	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	10	0	0	80
	思考・推論・創造する力	0	0	10	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	0	0	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に筆記試験を実施して評価する。 試験は講義で使用した教科書、同時双方向型授業において説明した内容に基づく問題を出題し、理解度を問う。 筆記試験の得点は総合評価の 70% に換算する。				試験後に模範解答を提示解説する。学生は教科書等を参照し要点を再確認する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		第 5～13 回は担当になった課題をグループでまとめ、パワーポイントで発表する。 配布するルーブリックに基づいて成績評価を行う。 成果発表の成績は総合評価の 30% に換算する。				授業でのディスカッションを通して適宜フィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎池谷 政直</p> <p>Teams を使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境等を推奨する。Teams を使用したグループワークを実施するため、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。</p> <p>なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況など、社会情勢によっては再度シラバスを変更する可能性がある。</p> <p><b>教員の実務経験：</b> 本科目を担当する教員は作業療法士として精神障害領域において 10 年以上の実務経験を有している。</p> <p><b>実践的授業の内容：</b> テキストと併せて疾患や患者像について視覚教材を用いることで学生の理解に繋げる。また臨床における治療で得た知見に基づき講義を展開する。</p>							